

境町の夏

かつて水運で栄えた町にさわやかな風が吹く



利根川大花火大会 2023年は9月16日(土)に開催予定



S-wave



S-waveは境町高速バスターミナルに隣接する

[写真提供: 境町]

人工サーフィン場に
全国最大級の花火大会
今、境の夏が熱い！

小さな町だがキラリと輝きを放つ猿島郡境町。かつて水運で栄えた町で、その面影は蔵造の建物に人々が集う「道の駅さかい」に感じることが出来る。

4月28日には次世代型人工サーフィン施設「S-wave」がオープンした。街中で気軽にサーフィン体験ができる施設は、初心者向けの波からプロが楽しめるハイクオリティな波まで自由自在に調整できるのが魅力。インストラクターが常駐しており、初心者や子どもでも安心して楽しめる。この夏、大注目の施設で新たなアクティビティに挑戦してみるのはお勧めだ。

夏の境町のイベントといえば「利根川大花火大会」だ。全国の有名花火師が集い、全国最大級の3万発の花火が利根川河川敷の夜空を華やかに彩る。花火と音楽のコラボレーションも花火大会を盛り上げ、観客を魅了してやまない記憶に残る花火大会が繰り返される。

近年は道の駅さかい周辺に、世界的に有名な隈研吾氏が手掛けた建物が続々と登場。街中に賑わいが生まれており、全国の建物愛好家からも関心が寄せられている。

境町夏のコース

境町の夏は道の駅さかいをベースに、利根川河川敷を満喫したい。レストランの「茶蔵」など、道の駅周辺には隈研吾氏の設計による建築物が集中し、それらを巡る散策も楽しい。町の主要ポイントは、国内の自治体で初めて導入した自動運転バスで結ばれている。

自動運転バス



2020年に運転を開始した。町の主要ポイントを網羅し、「道の駅さかい」と境町高速バスターミナルもつなぐ。

名産名品



猿島茶
濃厚な香りとコク味が自慢の猿島台地の特産品。1859年、全国の名産地に先駆けて米国へ輸出した日本茶でもある。

D アーバンスポーツパーク



境町高速バスターミナル周辺はスポーツ施設が充実。アーバンスポーツパークでは、BMXやスケートボード、ハルクール、インラインスケートなどが体験できる。



A さかい河岸レストラン「茶蔵」



境町の隈研吾氏作品の中でも代表的な建物で、国立競技場を思わせるデザインが特徴。「道の駅さかい」に隣接し、2階には鉄板焼の専門店がある。

B HOSHIIMONO 100Cafe



2021年5月に完成。飲食ができるほか、隣接する「S-Lab(こちらも隈研吾氏のデザイン)」で開発した干しいものブランディングも行っている。

C 道の駅さかい



蔵をイメージした店内には地域の名産品がスラリ。観光案内所としての役割も果たす。沖縄県国頭村のアンテナショップもあり、沖縄の特産品もそろそろ。

境町観光協会マスコットキャラクター

「サカイタチ」

泳ぎが得意で友好的。「ハイタッチ」を合言葉に、境町を盛り上げる。利根川河川敷から関宿のお城を眺めるのが好き。



境町の概要

利根川を挟んで千葉県関宿町と隣接する。江戸時代には関宿藩に属し、舟運で栄えた。首都圏中央連絡自動車道の完成で、各地からのアクセスは格段に向上した。

●お問い合わせ/境町 秘書室 秘書広聴課 ☎0280(81)1329 ●企画・制作/読売茨城広告社 ☎029(244)5555

